

気象・海洋



天気予報は、気象衛星の登場以来あまり進歩していません。次の大きな進歩は、海洋での直接観測なしには実現不可能です。陸地には70,000超の気象観測所が存在しますが、海上にあるのは1,200未満です。

海が世界の天候を動かしているのです。予報精度はより多くのデータをつぎ込めば向上しますが、ブイの費用がその妨げとなっています。

LIQUID ROBOTICS

A Boeing Company

+1 408 636 4200 www.liquid-robotics.com info@liquid-robotics.com

気象・海洋(続き)

気象・海洋観測の新たなアプローチ

気象モデルおよび天気予報の精度向上のために必要な気象・海洋データの収集作業は、Wave Glider(ウェーブグライダー)の使用により、手頃な費用でできるようになりました。

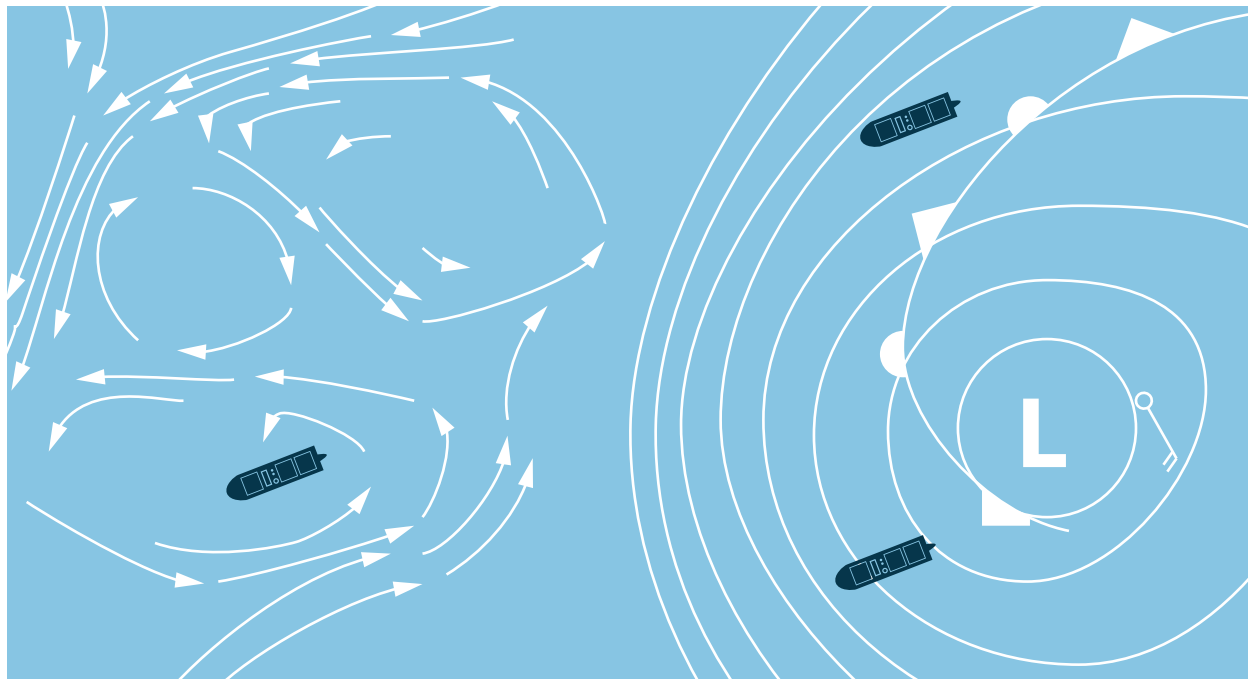
- ブイよりも費用対効果に優れ、高い信頼性
- 変化し続ける要求および船舶運用への順応性
- 長期間連続運用
- 曇天下にも影響を受けない
- 現場測定によるデータ精度の向上



2012年12月、熱帯低気圧「フリーダ」から収集した波高データ

Wave Gliderをブイと比較した場合

	SURFACE TEMP	WATER TEMP	AIR PRESSURE	DEW POINT	WAVE HEIGHT	WAVE + WIND SPEED	WAVE + WIND DIR.	TEMPORAL RES.	SPATIAL RES.	REAL-TIME DATA	REMOTE DEPLOYMENT	VIDEO/IMAGES	ADRIFT PREVENTION	95% DATA UPTIME
Wave Glider	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Standard buoy	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○



運用の概念

Wave Gliderは、すべての標準的気象・海洋データを、海面および海面下で連続的に収集します。

Wave Gliderは、特定位置でそこにとどまっているようにも、動的に位置するようにも設定可能です。

この気象・海洋観測のコンセプトが、リアルタイムで利用可能なデータによる未来・現在・過去の状況把握を支援します。